

平成 30 年度第 4 回神奈川県観光審議会議事録

日時：平成 31 年 2 月 12 日（火）14 時 00 分から 15 時 30 分まで

場所：かながわ自治会館 3 階会議室

1 開会

- 開会あいさつ（協観光部長）
- 観光企画課長が委員数 20 名に対し、2 分の 1 を超える 12 名の出席を確認し、審議会が成立すること、傍聴希望者が 1 名であることを報告。

2 議題

- － 議題(1) 「神奈川県観光振興計画の改定案について」について、事務局から説明 －

○観光企画課長

本日欠席の千葉委員から御意見をいただいておりますので、まず御紹介をさせていただきます。「県民の御意見を丁寧に回答されている点について大きく評価させていただきます。特に箱根ジオパークや宮ヶ瀬ダムは計画案にも盛り込まれておりますが、神奈川県固有の競争力ある観光資源と推察します。委員の皆様で県民意見を精査して、更に丁寧に配慮するのがよいかと感じました。」こうした意見をいただいております。

○会長

はい、ありがとうございました。非常に丁寧な説明をしていただきました。それではただいまの事務局からの御説明について、御質問や御意見をいただけますでしょうか。内田委員お願いします。

○内田委員

お疲れ様でした。防災の関係、自転車関係を反映していただいております。もう一つだけちょっと気になっていることを申し上げますと、全く次元が違うのですが、外国人の労働者の方が 34 万人、結構な数の方が流入して参りまして、私たちの生活で、一緒にやっていくという形になると思われませんが、観光客の方も実際にこちらで働いている方も外国人の方が増えてくるということで、ちょっと一見、見分けがつかないというようなことも起こりうるだろうというのが想定できます。逆に言えば、些細な問題とか、様々な警察との連携を入れていけないと思います。

防災だけではなく、軽犯罪といったものも、将来を考えると、そういうところまでと触れておいたほうがいいのではないかと思います。それも（既に）安全安心ということで、（計画に）入っているのかもしれませんが、ただ、そういった外国人受入や、働き方改革の中で将来的にも観光審議会としては、どのように考えていくのか、お考えをお伺いしたいと思います。

○会長

ありがとうございました。事務局、お願いします。いかがでしょうか。

○国際観光課長

ありがとうございます。外国人労働者の受入という話と、外国人観光客という、そういう観点かなと思います。例えば外国人の方が増えたことで、そもそも犯罪が増えるのかと言えば正直わからない部分があると思っております。国の方も労働者の受入れに関しては、一定程度の基準を設けるということですので、県として注視していかなければならないと思っております。計画の中の位置付けについては、今お話ありましたように安心・安全という中で、必要に応じ盛り込んでいくというふうに御理解をいただければと思います。

○内田委員

ちょっと先の話かもしれませんが、次回の改定の時に考えなければならない問題かと思っております。ちょっと早すぎるかもしれませんが、指摘させていただきました。

○観光部長

まさに今、委員がおっしゃっている課題というのは、そこに迫っているところもあるかなと思います。今回、盛り込ませていただいた、人材の確保方策というところも非常に関係してくると思っております。今、日本の労働人口が減ってきている中において、外国の方をどう受け入れていくか、という意味で、人材の確保方策の検討という項目を盛り込ませていただきましたので、まさにその中で、今の観点も議論させていただく必要があるかと思っております。

○内田委員

大分良くできてきたので、後はそういうところなのかなというふうに思っております。ありがとうございます。今後の課題ということで、どこか頭の隅に置いていただきたいところです。

○会長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

○土井委員

ここまでまとめ上げていただいて本当によかったと思います。御苦勞様でした。ただ、この間2月10日に自民党大会があつて、安倍総裁が演説の中で、インバウンド施策は地方創生とリンクしていると触れていました。地域の活性化のために、これからデューティーフリーショップも増していこうというような話をされてきました。観光振興計画を見るとデューティーフリーショップに触れられていないようです。もう何年か前に国の方で商店街丸ごとデューティーフリーショップとか、そういうふうに規制緩和でやれるようになったじゃないですか。だからそういうのはやはりインバウンド施策の一つとして入れるべきではないかと思えます。それと観光振興計画の全体を見たときに Wi-Fi が触れられているかどうか。ぱっと見た限りで入ってなかったようです。

が、Wi-Fi 環境の整備とか、それから今まさに県がやろうとしている、国を挙げてやろうとしているキャッシュレス化。こういったものも、観光を振興計画の中に組み込むほうがいいのではないかと思います。

○会長

ありがとうございました。事務局いかがでしょうか。

○国際観光課長

はい。今、御指摘ありました免税については、記載はございません。多言語化の促進や、Wi-Fi 環境の整備、後はキャッシュレス決済の普及というのは、27 ページ以降の基本施策の 3、受入環境の整備、(1) 外国人観光客の受入環境の整備に記載をさせていただいております。

○土井委員

そうですね。やっぱりこれ一つのセットだと思うのですね。これは普及していかなきゃいけないと思います。その辺は観光部長どう考えますか。

○観光部長

28 ページの⑤のところに、キャッシュレスに関しまして外国人観光客の消費活動の促進というタイトルのもとで触れておりますが、今委員のおっしゃったとおり、デューティーフリーと合わせてやらなければ消費活動促進とはならないかと思っておりますので、いただいた意見をもち帰らせていただいて、県として何ができるかということ踏まえた上で、ここに何かしらの形で盛り込ませていただければと考えます。ありがとうございます。

○土井委員

入れた方がいいと思います。

○会長

貴重な御意見ありがとうございました。

それでは他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。一つ一つ市民の皆様や県民の皆さんの意見を全部取り上げてくださって説明していただきましたし、この審議会で出た、委員の先生方の御意見もきちっと踏まえて、先ほど御説明いただきましたが、今日が最後になりますので、もしどうしてもこれだけは気になるというような、今、土井委員からいただきました出てデューティーフリーショップのことなどありましたので、もしあれば、ぜひここで御意見を頂戴できればというふうに思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

○広瀬委員

よろしいでしょうか。

○会長

どうぞお願いします。

○広瀬委員

横浜中心だと思いますけれども、クルーズの受入環境整備、これは CIQ（入国審査）も含めましてですね、かなり日本全体で注目されていると思いますので、特に日本船については、既に日本一の港を誇る横浜ですので、今後、外国からのクルーズ船（船の寄港）が、増えてくると思いますので取り上げられてもいいかなというふうには思います。

○会長

いかがでしょうか。事務局お願いします。

○インバウンド観光担当課長

資料 4 の 20 ページを御参照ください。一番下の⑥のところに、線路と、クルーズ船で訪れる外国人観光客に向けたプロモーションということで、記載させていただいております。

○広瀬委員

日本の観光行政自体が、プロモーションが先行してしまっているのですが、なかなか受入環境が整備されていない、そうなるに寄港に支障をきたすということもあります。受入の環境をどう整備するのかという川上から入っていただきたいなっていう、ちょっと突っ込んだ、御依頼でございます。

○会長

ありがとうございます。いかがでしょうか。

○インバウンド観光担当課長

港湾の管理は横浜市の所管になっております。今市の港湾局の皆さんとともに、いろいろ意見交換しながら県としてすべきこと、何ができるかということについて、協議を進めさせていただいているところでございます。委員御指摘の通り、横浜港に今後ますますクルーズ船が入港してきますし、新港ふ頭も含め、今整備をされています。最大 7 隻の船が同時に着岸できる計画になっております。県としては、横浜市も含め県域全体で幅広くエクスカッションについて、プロモーションを展開しているところでございます。

○会長

ありがとうございました。そういう取組をしてらっしゃるということですが、ここに文章に、何か入れたほうがよろしいとかそういう御意見でしょうか。広瀬委員。今の御回答でよろしいですか。

○広瀬委員

はい。

○会長

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。お願いします。近藤委員。

○近藤委員

持続可能な観光ということで、オーバーツーリズムが話題になっております。特に鎌倉など、混み合っている地域に対する対策についてお聞きしたいと思います。

○会長

ありがとうございました。いかがでしょうか。お願いします。

○国際観光課長

はい。今お話ございましたけども、鎌倉江ノ電の鎌倉高校前でかなり外国人、中国人の方が集中しているという話は県としても把握しておりますし、また鎌倉市の観光の担当部署とも、定期的な意見交換はさせていただいているところです。また、観光庁でもオーバーツーリズム対策を今後検討されると伺っています。県といたしましては、観光の目玉があつて、来ていただくということは、魅力的なコンテンツがあるということになるのですが、ただ、そこから他のところにも行っていただく。周遊していただく。別の観光コンテンツにもまた光を当てて、行っていただくといった対策。現実的には、鎌倉高校前のところは、市の方も警備の方を立たせたりだとか、そういった取組みをしています。そういったことを踏まえながら、考えていきたいと考えております。以上です。

○会長

ありがとうございました。よろしいですか。

まとめさせていただくと、内田委員の方からですね、外国人観光客と外国人労働者の方との区別ですとか、それによって軽犯罪が起きる（可能性がある）ことを念頭に入れながら考えていく必要があるのではないか、という将来を見据えた御意見を頂戴しました。

土井委員の方からデューティーフリーショップについての記載がない、その辺をぜひ記載していただきたいということなので、それは持ち帰って県の方で御検討いただくということでよろしいですね。

広瀬委員の方からクルーズについてということで受入環境について、その整備についても考えていく必要があるのではないかということで、県の方でもそれらに対応している最中であるというような、御回答がありました。

あと、近藤委員の方からオーバーツーリズムについてどういうふうに対応していくのかというような御質問をいただきまして、それに対して、例えば鎌倉だけでなく、他のところへも行っていただくような仕組みづくり等も、今後考えていく必要があるのではないか、というような御回答をいただいたかと思っています。以上でございますが、これでよろしいでしょうか。

それでは御審議いただきました計画改定案につきましては、本日御意見いただいた箇所を修正するものとして、細部の修正については事務局との調整をしまして、私、会長に一任をさせていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございました。3月に入りまして、最終案を委員の皆様にご提示をいたしますので、それらを確認していく形で進めさせていただければと思っております。3月中にはこの審議会として知事への答申を行います。皆様からいただいた意見を事務局でまとめさせていただいたものを、こちらでも会長である私に一任をさせていただいて、答申させていただきたいと思っておりますがそれでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございました。それではそういう形で取り扱うことといたします。その他事務局から何かございますか。

－ 参考資料について事務局から説明 －

○土井委員

県の施策でベトナムにずいぶん予算が割かれているけれども、何でベトナムなのか、(観光部で)答えられますか。

○観光部長

まず外国人観光客の誘致というところで、ターゲットを絞るかという中で、いろんな国のGDPですとか、これからの伸びというのを横に並べてみた中で、やはりベトナムというところはこれから伸びていくという上で、非常にターゲットとして望ましいだろうということと、当時、これを決めたのが3年前ぐらいになりますが、その時にはまだそれほどベトナムは注目されていなかったというところも、実は決め手になっていましたが、対照的に台湾等は本当にどの都道府県も、皆さん、ターゲットにしていたので、まだそれほど出ていなかったところに着手した、ということはあると思っております。

○土井委員

僕らもう10年以上前にベトナムに行っているけれども、あそこは安い小物雑貨がすごく女の子の人に受けていて、もう10年ぐらい(前から)日本から若い女性客が随分行ってましたからね。3年前とはちょっと違うと思いますが、確かに人気が出ているですね。若い女性の方たちからね。

○会長

ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。よろしいですか。特に御意見がないようでしたら、本日の審議はこれで終了とさせていただきたいと思っております。

最後に審議速報の確認をお願いいたします。事務局は審議速報案の配付をお願いいたします。お手元にごございますでしょうか。審議会の速報ですけれども、今回御出席の委員の先生で上から4番目。5番目ですね、深澤様ですけれども、本日急遽御欠席ですので、これをきちんと出す際には、深澤様の名前を削除して出させていただきたいというふうに思っております。審議速報ということですので簡単な記載となっておりますが、それ以外特段の問題はないでしょうか。

それでは、これを審議速報として決めます。本日の議事はこれで終了とさせていただきますの

で、進行を事務局にお返しいたします。よろしく申し上げます。

○観光企画課長

はい。山口会長ありがとうございます。また、委員の皆様方、ありがとうございました。皆様にお集まりいただき、計画を審議する機会は本日が最後となります。事務局の方で、皆様からの御意見を踏まえて作成した上で、山口会長からお話があった通り、3月の神奈川県議会終了後に皆様にその案をお示しし、確認させていただいた上で最終案を取りまとめていきたいというふうを考えております。3月中旬から下旬に皆様に御意見を伺う予定ですが、短い期間での照会になる見込みでございます。